



あすなる通信

6月
2023年
6月号
June



今月の行事

今年の梅雨明けはいつになるのでしょうか？
健康に十分気をつけて、1学期のゴールを目指しましょう！

- 5日(月) カウンセリング
- 6日(火) 外国語活動
- 9日(金) 遠足
- 14日(水) 理科学習
- 16日(金) 食育
- 19日(月) ヨガ
- 29日(木) 美術活動



活動の様子 遠足

広瀬記念館～えんとつ山



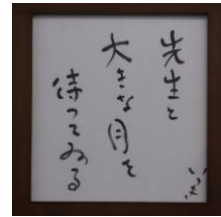
理科学習 年間5回実施予定



【室長コラム】

「先生と大きな月を待っている」

あすなる教室の学習室に、この俳句が書かれた色紙がかかっている。以前にも紹介したことがあるが、私が若いころに、国語科の研修でご縁のあった夏井いつき先生からいただいた色紙である。今では有名人になってしまってお会いする機会はなかなかないが、当時は、句会ライブなどの講師として気軽にお招きし、俳句を教えていただくことができた。その時にいただいた色紙である。



この俳句の情景、先生の横にいるのは子どもであろう。先生と一緒に丸く大きなお月様が昇ってくるのを待っている。先生と手をつないで空を見上げているのかもしれない。先生の表情はとてもやさしく、その横で、子どもは安心しきって穏やかな表情をしており、やがて昇ってくるお月様を楽しみに、笑顔で生き生きとしている。そして、見え始めたお月様は、丸く大きく、やさしい色で、子どもの心を温かく包み込んでくれる。先生と子どもの未来も明るく照らしてくれるに違いない。

先生の横が、子どもの大切な居場所になっていることがわかる。信頼でき、安心できる場所なのだろう。この俳句の情景を思い浮かべながら、「大切な居場所」＝「大切な人」なんだということに改めて感じた。安心できる居場所があるということは、信頼でき、安心できる人がそこにいてくれるということ。その人の存在があるからこそ、安心して過ごせる環境、がんばれる環境になっている。自分を大切にしてくれる。話を聞いてくれる。自分の気持ちをわかろうとしてくれる。認めてくれる。何かあったら助けてくれる。力を貸してくれる。守ってくれる。だから、失敗しても大丈夫！きっと自分を支えてくれる。決して忘れられることはない。見捨てられることはずっとない。信頼できる人がいてくれる場所には、大きな安心がある。

「教師こそ最大の教育環境なり」という言葉を思い出した。これも私が若いころに教えられ、ずっと心に刻んできた言葉である。子どもの成長にとって、環境はとても大事であり、その環境を作り、整えるのは人である。地域では地域の人たち、家庭では家族、そして、学校では先生である。もちろん物的環境も大切ではあるが、やはり最大の環境は、そこで共に生きる人たち自身である。そこにいる人の心、考え、感情、表情、声、態度、そして生き方などによって、子どもたちの心の状態が大きく変わってくる。そして、子どもの成長に大きく影響する。

あすなる教室の環境はどうだろうか？子どもたちが、安心して先生と大きな月を待つことができる場所になっているだろうか？私たちが共にいて、子どもたちが安心して自分の未来を思い描ける場所にしたい。そして、ここで未来の夢を語り合いながら、大きな月を共に待ちたい。



「あすなる教室」



TEL 0897-37-7474

FAX 0897-32-6822

e-mail asunaro@city.niihama.lg.jp

